

2021年度 卒業生に対する進路・就職状況アンケート調査結果

1. アンケート実施期間：
2021年10月20日～10月31日
2. 調査方法：
対象者にメールで案内を行い、Webアンケートフォームにて回答を回収
3. 調査対象：
2017年度本学卒業生 件数：419件（有効回答数：9件）
4. 目的：
学生の卒業後の進路・就職状況から、本学の教育成果を検証し改善を図るため実施

■質問項目

1. 現在の状況について
 - 1) 企業・団体等の正社員・正職員
 - 2) 企業・団体等の派遣・嘱託職員
 - 3) 自営業、自営の家族従業員
 - 4) フリーランス（作家、マンガ家、イラストレーター等）
 - 5) パート、アルバイト等
 - 6) 主婦・主夫
 - 7) 学生
 - 8) その他

※1. で1) 2) 3) と回答した人のみ以下の質問に回答

①主な事業内容（業界） ②主な職種 ③勤務地 ④勤続年数

2. 転職経験
 - 1) 無し（新卒時から現在の進路）
 - 2) 無し（卒業後に現在の進路）
 - 3) 1回
 - 4) 2回
 - 5) 3回
 - 6) 4回以上
3. 本学卒業後の進路
 - 1) 現在のご職業
 - 2) 企業・団体等の正社員・正職員
 - 3) 企業・団体等の派遣・嘱託職員
 - 4) 自営業、自営の家族従業員
 - 5) パート、アルバイト等

6) その他

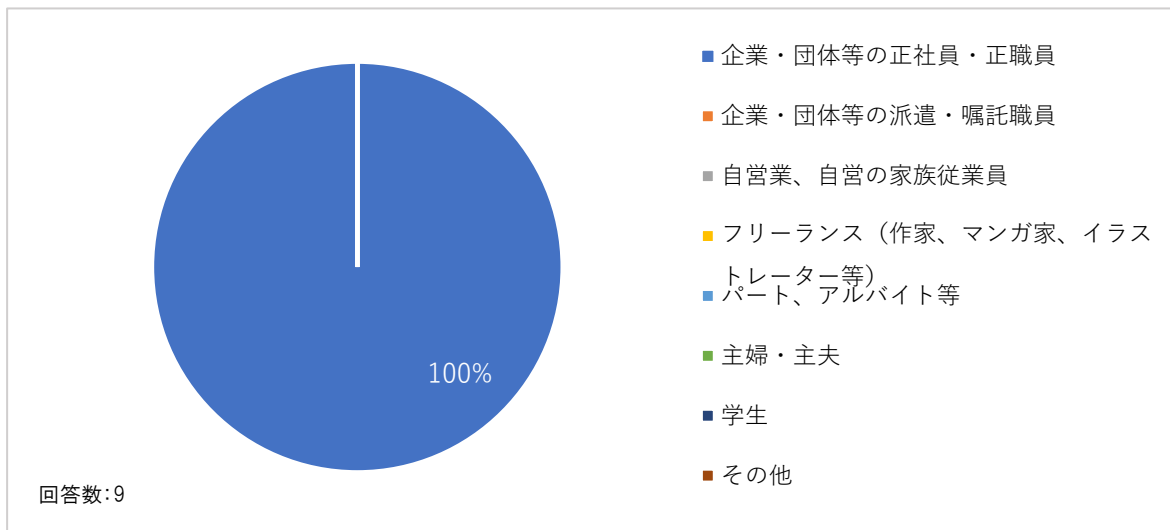
4. 以下の項目について、京都精華大学在学中にどの程度、身に付けたと思いますか。
- 1) 多様性を理解する力
 - 2) 専門知を活用する力
 - 3) 論理的に思考し判断する力
 - 4) 考えを表現する力
 - 5) 多様な人とコミュニケーションする力
 - 6) 他者と協働する力
 - 7) 社会と他者に貢献する力
 - 8) 専門分野の技術・制作スキル
5. 今後、京都精華大学の教育において、より重点すべきだと思われる項目を上位より3つお選びください。
- 1) 多様性を理解する力
 - 2) 専門知を活用する力
 - 3) 論理的に思考し判断する力
 - 4) 考えを表現する力
 - 5) 多様な人とコミュニケーションする力
 - 6) 他者と協働する力
 - 7) 社会と他者に貢献する力
 - 8) 専門分野の技術・制作スキル
6. 以下の項目について、京都精華大学での授業や経験はどの程度、役に立っているものはありますか。
- 1) スライドなどを使ってプレゼンテーションを行う力
 - 2) インターネットや関連機関（図書館等）を使って必要な資料を収集する力
 - 3) レポートや報告書を作成する力
 - 4) デザインソフトを使って制作する力
 - 5) デザイン（意匠・設計）する力
 - 6) 画力（描く力）
 - 7) 外国語を扱う能力
 - 8) 外国での生活経験
 - 9) 友人や教員・職員との出会い
 - 10) 新しい問題の設定や課題を発見する力
 - 11) 他者と協働する力
7. 上記の経験等で仕事で非常に役立っている場合は具体的な例を記述してください。
8. 大学で履修した授業・演習・実習で現在も役立っている科目がありましたら記述してください。
9. 本学を卒業して満足していますか
- 1) 大変満足している
 - 2) 概ね満足している

- 3) どちらとも言えない
- 4) あまり満足していない
- 5) 全く満足していない

10. 本学の専門教育・研究に対するご意見、ご希望等がありましたら自由に記述してください。

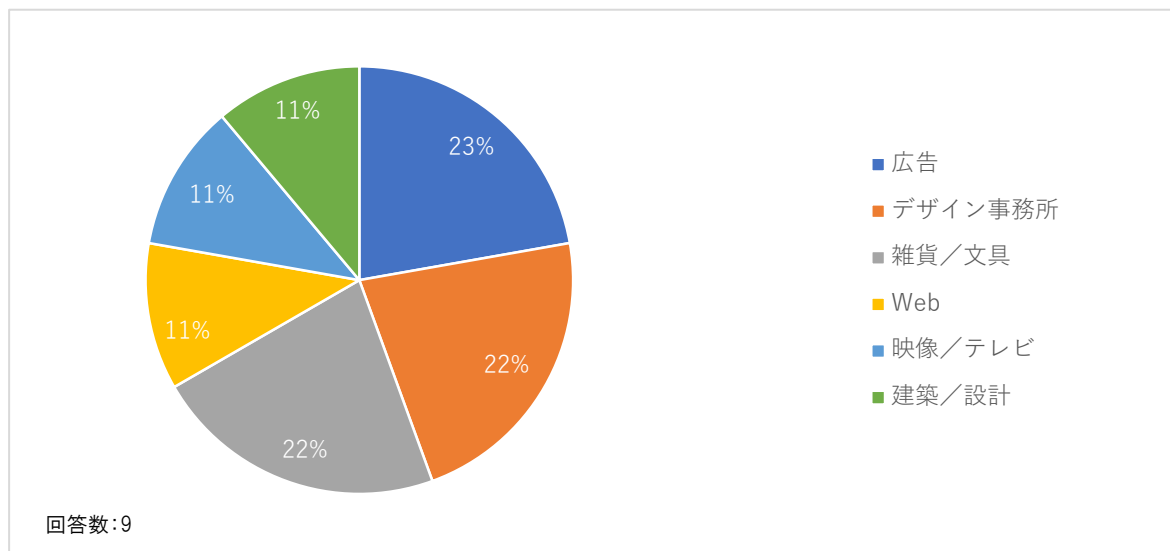
【回答のまとめ】

1. 現在の状況について

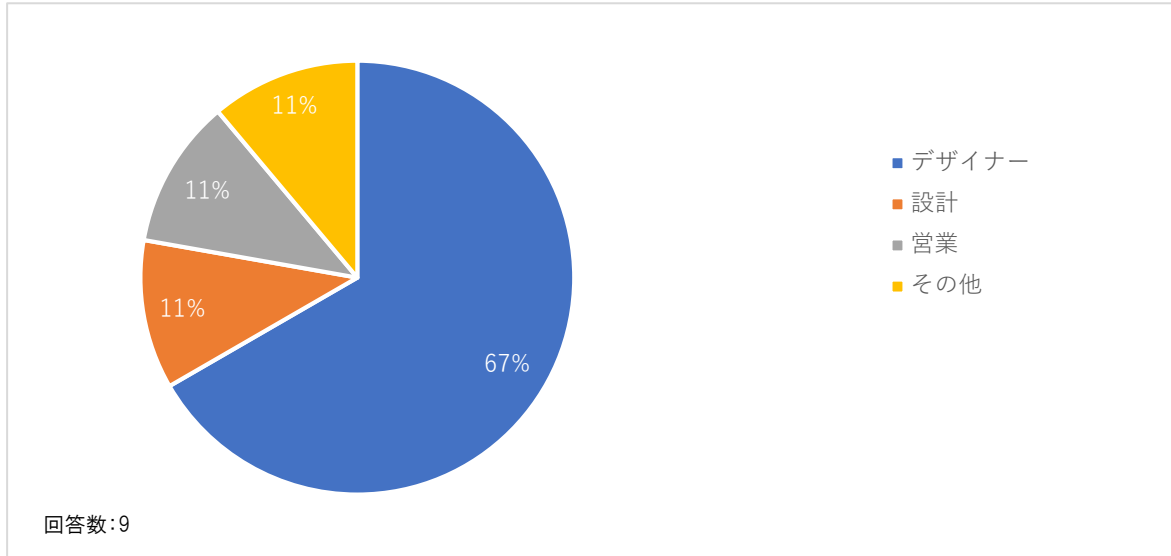


※1. で1) 2) 3) と回答した人のみ以下の質問に回答

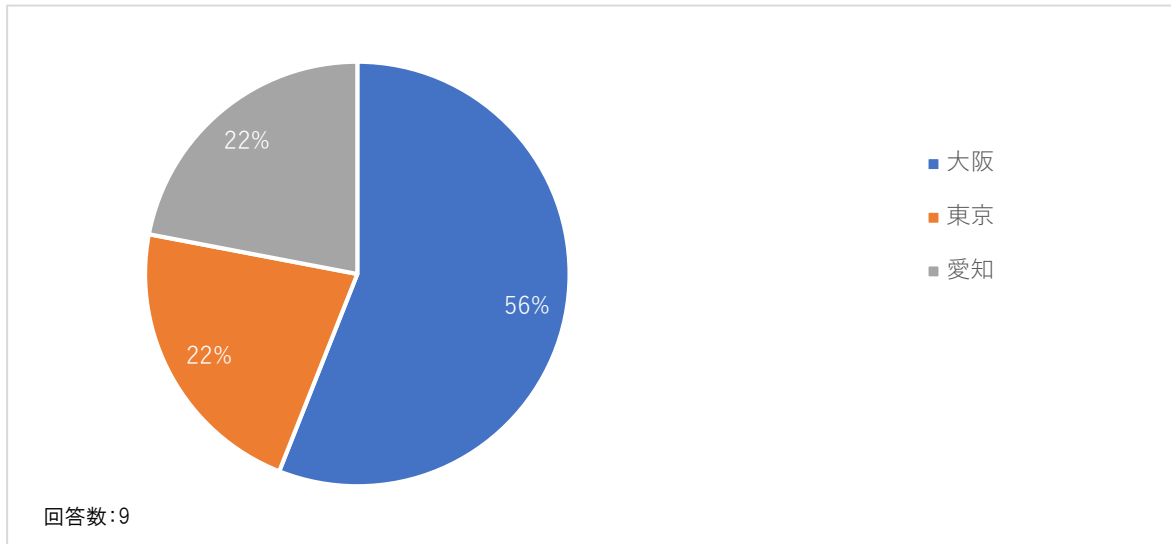
①主な事業内容（業界）



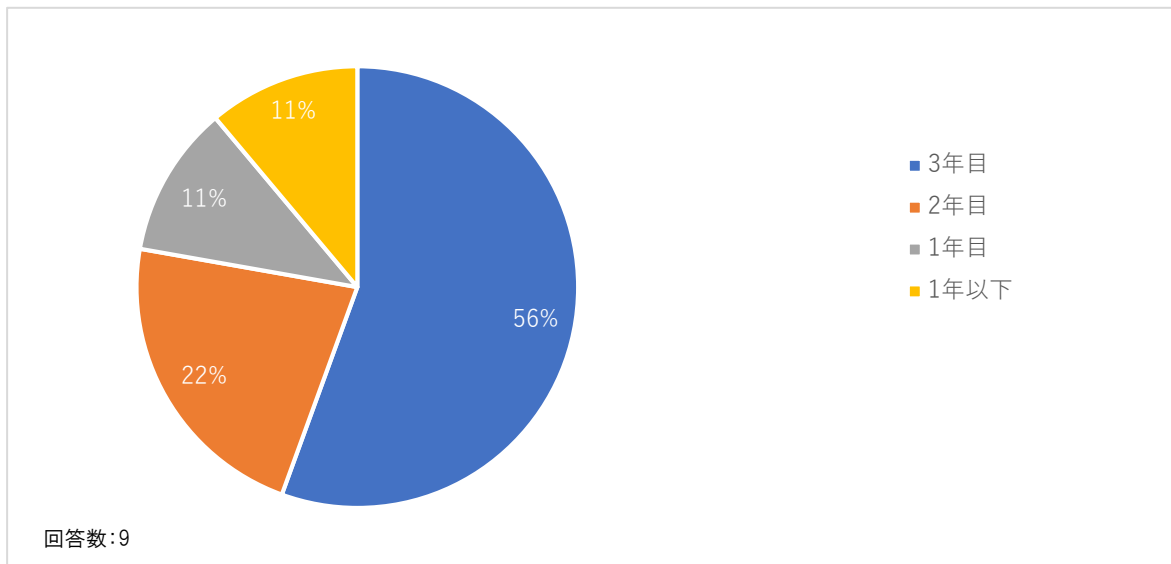
②主な職種



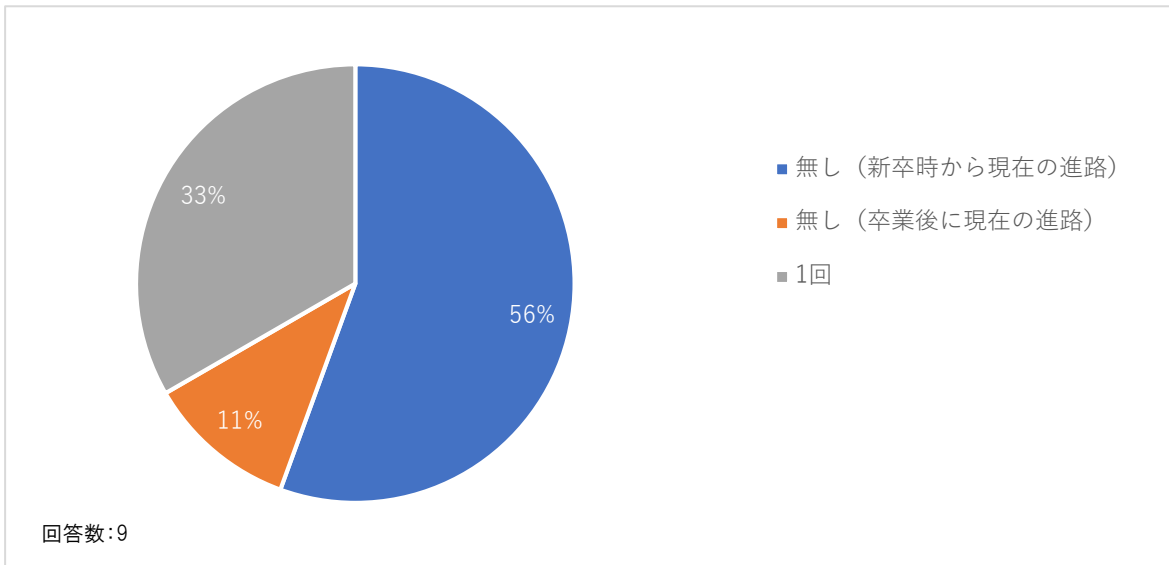
③勤務地



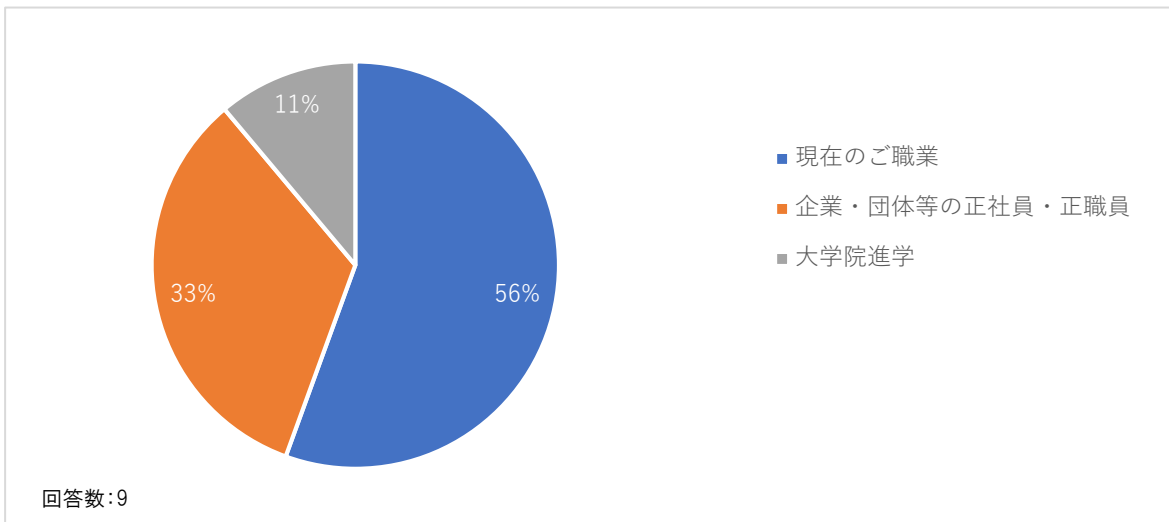
④勤続年数



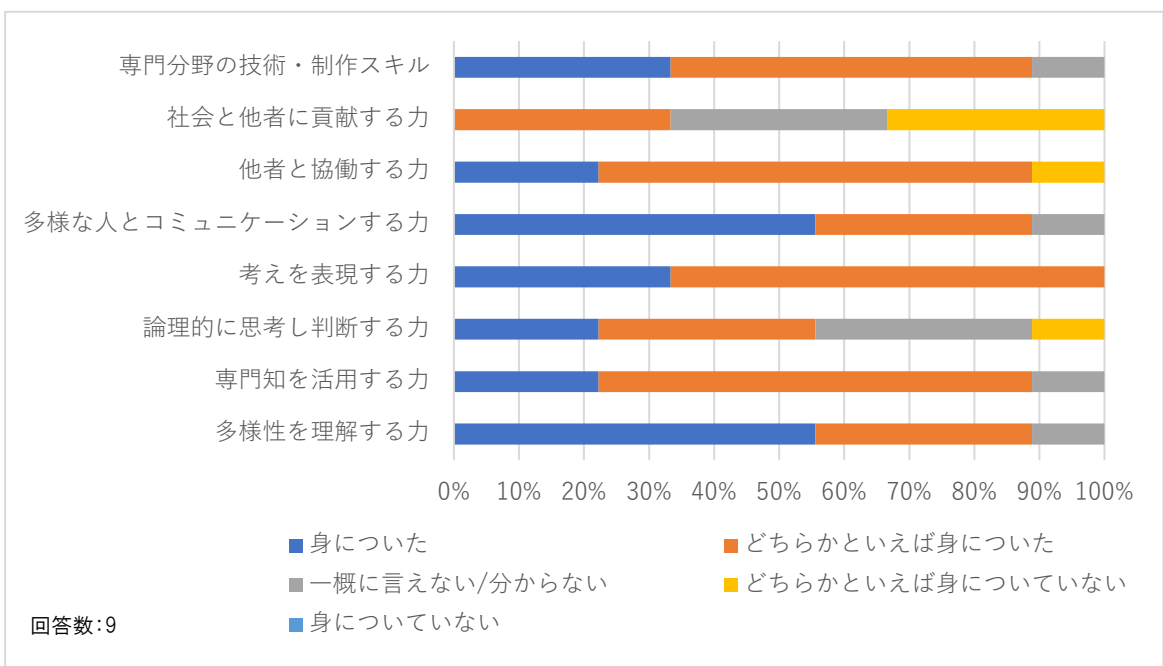
2. 転職経験



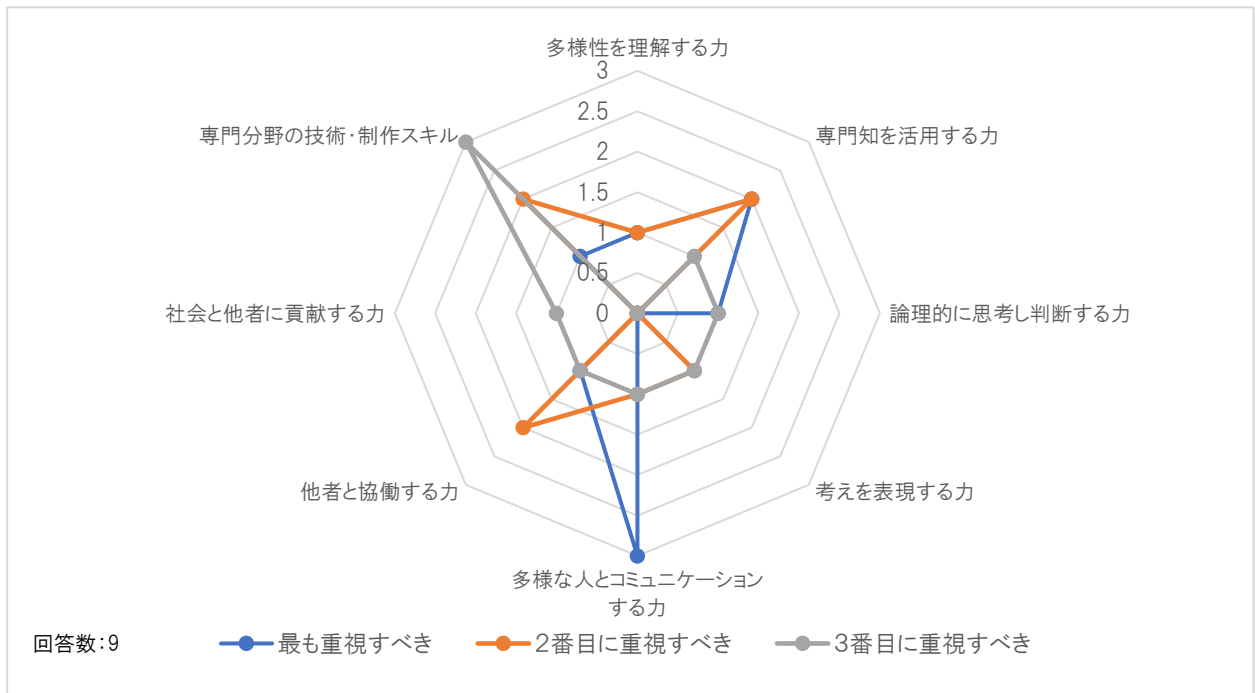
3. 本学卒業後の進路



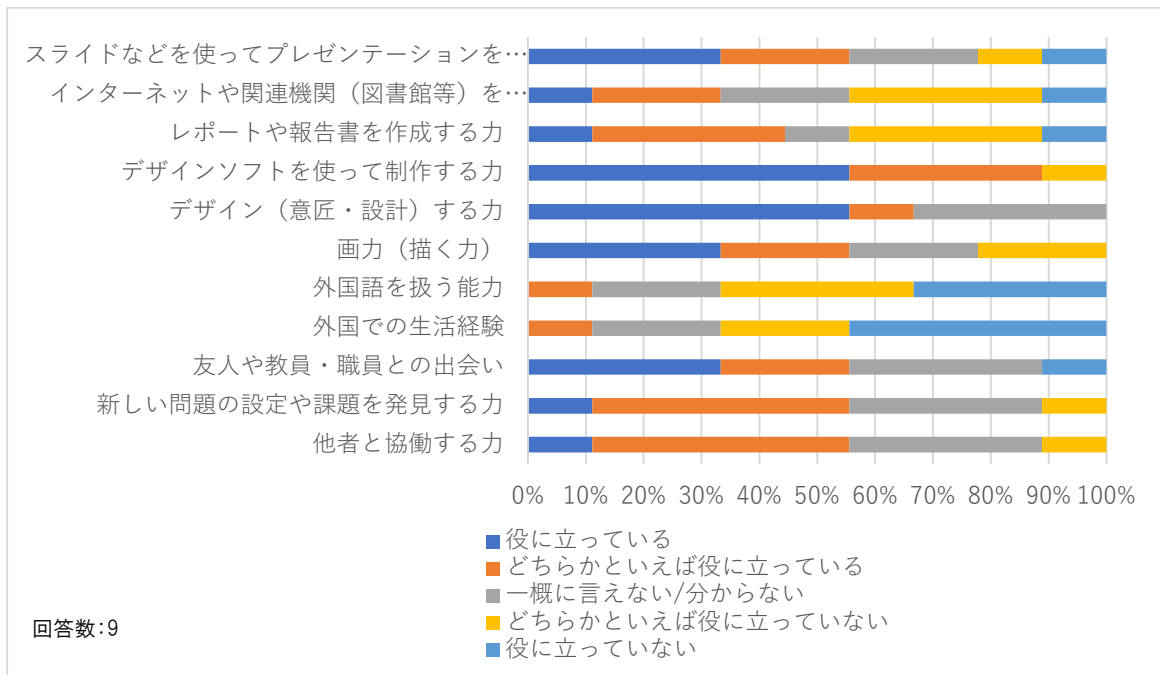
4. 以下の項目について、京都精華大学在学中にどの程度、身に付けたと思いますか。



5. 今後、京都精華大学の教育において、より重点すべきと思われる項目を上位より3つお選びください。



6. 以下の項目について、京都精華大学での授業や経験はどの程度、役に立っているものがありますか



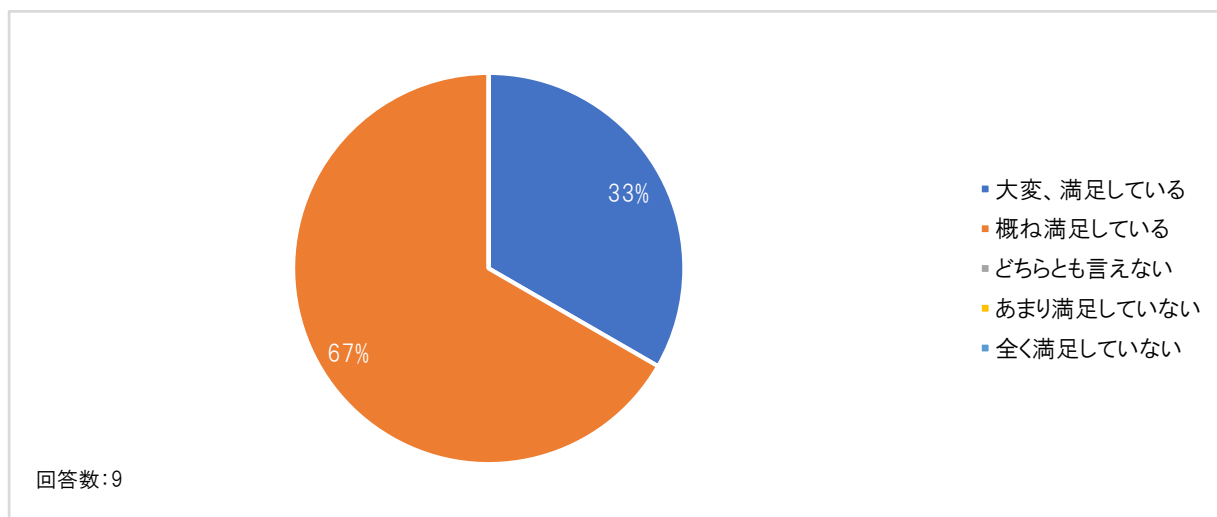
7. 上記の経験等で仕事で非常に役立っている場合は具体的な例を記述してください。

- 授業はどれも非常に面白く、大学に通うのが毎日楽しかったです。授業の面白さは教授による生徒との密なコミュニケーションによるものだったと思います。デザイナーはデザインだけしていればいいという訳ではなく、外部とのやりとりはもちろん、社員同士でのコミュニケーションを取ることがいかに制作物に関わっているのかが最近になってわかるようになってきました。教室を「オフィス」と呼び、周りとは相談(雑談)しながら制作に打ち込めるグラフィックデザインコースの教育方針?に感

謝しています。

- ・ 多くのデザインツールに触れる機会があったため社内でも臨機応変に対応することができた。
- ・ 心から許しあえる友達や先生に出会い、社会人になっても心の支えになっている。国際交流の場が多く、気軽に交換留学にいったため、外国に対する興味がわき、外国語が職場でも活かされる時がある。
- ・ 京都の伝統工芸実習

8. 本学を卒業して満足していますか



9. 本学の専門教育・研究に対するご意見、ご希望等がありましたら自由に記述してください。

- ・ プロダクトデザイン学部のグラフィックデザイン分野の授業をもっと厚くしても良いと思いました。
- ・ デザインソフト、デジタルの使い方を徹底的に身につけさせた方が良いと思う。週一回程度の私の時代の大学の教育だと就職活動、社会に出た時に全くスキルが足りず、困ったことが沢山あった。
- ・ 職種にもよりますが、入社して Photoshop や Illustrator のショートカットや機能を覚えて使えていれば良かったと思いました。学生時代ではある程度使えていると思いましたが、入社してから知らない便利な機能がたくさんあって効率的ではなかったと実感したので学生時代にショートカットのテストなどあれば入社してからもう少しスムーズに業務に当たれたと思います。